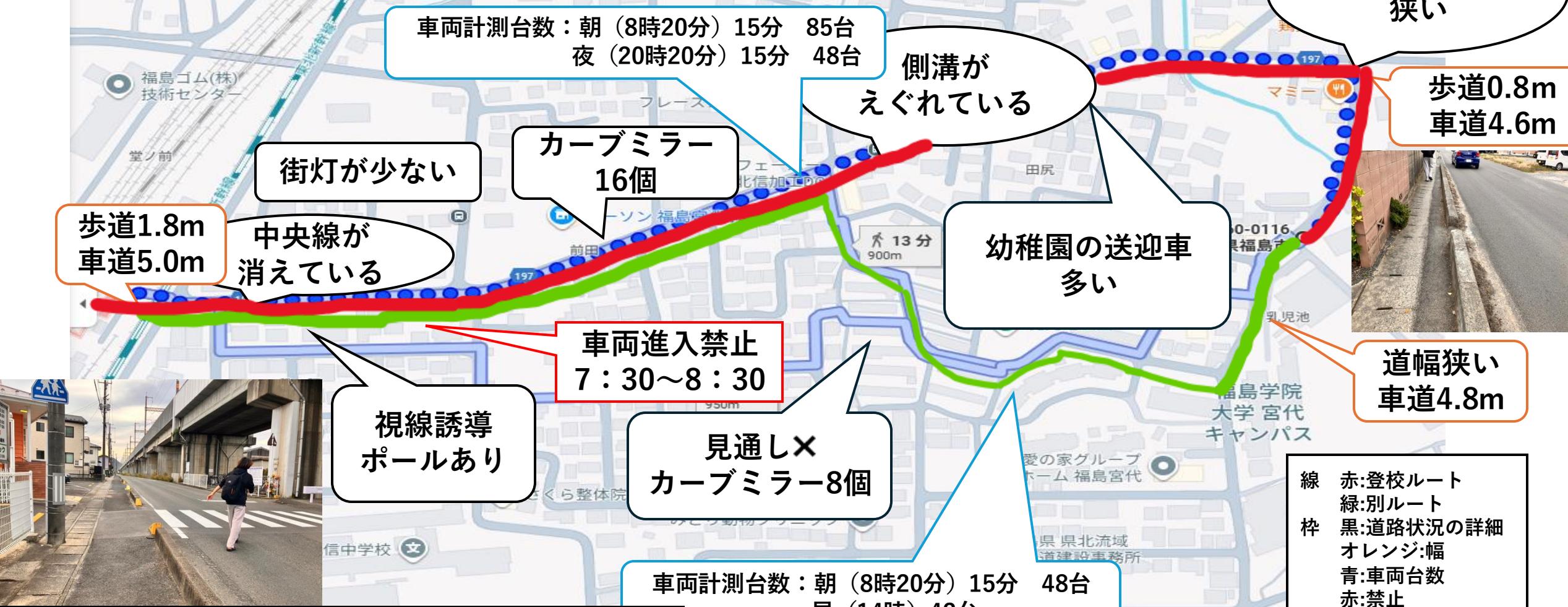


通学路の安全調査：側溝・道幅の課題一片側車線の可能性？



調査結果と考察

子供や大人かかわらず歩行者、運転者がともに事故が起きにくくなるために、カーブミラーや標識といった配慮されている点が多くみられた。夜よりも朝のほうが交通量が多く通学路としての役割が大きい。しかし幅や側溝が削かれていることから、多くの学生が通るには通りにくい。片側車線にする、行政に道路の状況を定期的に報告することを提案したい。

調査者：小野翔吾、佐藤拓人、藤田恭吾、室本眞聖、瀧澤昌大、佐藤凜太朗
調査日時：2025年11月17日